

2021 年度 特定非営利活動法人そよかぜねっと
事業計画
(2021 年4月1日～2022 年3月31日)

1. 基本方針

人とのつながりでゆっくり快復していく当事者の自立への歩みと社会参加を促進します。

- (1) 当事者ひとり一人のニーズに沿って、安心して過ごせる場・主体的に活動できる場・就労を目指すための場を提供します。
- (2) 「精神障がい」への理解をさらに深めるための地域社会に向けた啓発活動をすすめていきます。
- (3) 支援の質の向上や人材育成を目的とした資格の取得、研修、講習会等研鑽に努めます。
- (4) コロナ感染症を含め、感染症対策を徹底していきます。
- (5) 事業運営の発展を見据え、資金計画を立てていきます。

2. 実施計画

(1) 就労継続支援 B 型事業

① 安心して過ごせる場

日中の作業活動に参加するしないにかかわらず、就労を目指す方と居場所として利用する方が互いに思いやり、譲り合って時間を共有できるよう、環境整備に努めます。また、課題が出た時には、メンバー職員共に話し合い、居場所を作り上げていきます。

また、介護保険移行の基本年齢である 65 歳時のご本人の状況を加味し、ご本人・相談支援事業所とともに生活スタイルの検討や今後の利用についての検討を行うこと、70 歳からの B 型事業所以外での居場所確保など、各関係機関と調整を行っていきます。

② 主体的に活動できる場

グループ調理、土曜日開所、レクリエーション、お茶補充や各エリアの片付けリーダー、施設外作業場所でのリーダー業務など、その人その人に合った役割担当の提案など通し意欲的に活動したり、気付きにつながるような環境の提供をしていきます。

③ 就労を目指すための場

施設内外の作業を通し、得手不得手を知り、意欲的に作業に取り組めるよう環境を整えていきます。また、業者・単価・作業内容などの精査を継続的に行い、工賃向上を目指す取り組みを行っていきます。心身共に整い就労意欲が高まった方に対しては、実習・就労準備を進めるなど、施設内作業から就労準備までを一貫して行います。

(2) 就労定着支援事業

① 就労～6か月まで

B型事業の職業指導員が就労直後の変化に寄り添いサポートし、6か月後に定着支援員に引き継いでいきます。希望者にはハローワークのジョブコーチ支援の案内を行っていきます。

② 就労定着6か月目から

定着支援を利用する中での離職率は、令和2年度は25%で令和1年度の離職率29%からは微減となったが、定着支援を利用しない就労の離職率36%と大きな開きがない状況は続いています。月に1回以上の面談・企業訪問により、生活・就労両面の課題解決を行い就労定着の支援をします。定着支援を継続することにより、前年度に引き続き離職率の15～20%への低下を目指します。また、就労後の適性などの違いなどから就労継続が困難と判断した場合は、速やかに関係機関と連携を取り、新たな就労環境の提案・準備・転職支援・転職後の定着支援を行います。

(3) 共同生活（グループホーム）・短期入所（ショートステイ）事業

利用者一人一人が自分なりのライフスタイルを作っていけるように、一緒に考え、見守り、手伝い、生活の基盤を支えています。

1. 自分で考えて行動し、生活に必要なことを自分でできるよう（洗濯・掃除・時間管理・買い物・通院等）サポートします。
2. 自分で使うお金を自分で計画していけるよう、生活費管理の手助けを行います。
3. グループホームでの生活の基盤を作り、新しい生活に慣れるよう、健康管理・不安への寄り添いに努めます。
4. 地域行事への参加を一緒に行い、地域の方とのコミュニケーションを図っていきます。
5. 令和3年度にグループホーム入居者を5名とすることを目指します。（定員6名、内1室短期入所利用）
6. 青山地区、関係機関に対しグループホームの啓発・PR活動を行っていきます。
7. 短期入所では、家族のレスパイトケアや入院時などの緊急的な活用、当事者の自立に向けた生活支援のサポートを行います。

(4) 地域への啓発活動

- ① 「そよかぜねっと通信」の発行
- ② 「やすらぎニュース」の発行
- ③ ホームページのリニューアル及び定期的な見直し・更新を行います。

(5) メンバー・家族への情報提供、啓発活動

精神障がいに関する情報・知識を分かち合う場となることを目的に、家族向け・メンバー向けの勉強会を各年1回行います。感染症対策も踏まえWEB対応や少人数

開催、文書共有など柔軟な対応も検討していきます。また、勉強会だけでなく、電話や面談など含め相談や様々な機会を活用し、家族との相互理解・連携を深めることができるよう努めます。

(6) 衛生管理及び感染症対策について

毎日の使用備品の消毒、職員・利用者のうがい手洗い・消毒を徹底し、常日頃より感染症への予防対策に努めます。また、月初めに衛生（服装の乱れや汚れ、毛髪、履物、爪、髭、洗顔、口腔衛生）チェックを行い、清潔な身だしなみを整えることができるよう支援を行います。継続支援が必要な方に対しては、期間を短く区切り個別にサポートを行っていきます。

(7) 支援のための体制づくり

① 職員体制の確立

人員配置基準にのっとり、支援が行き届くよう十分な人員の確保及び配置を行います。また、個々の支援者の負担の軽減や有給取得率を上げられるよう努めます。

② 職員研修の充実

業務への取り組み意欲と資質向上を図るため、各種研修や資格取得支援の充実を図ります。また、オンライン研修が増えている中、オンライン研修にも積極的に参加・開催できるよう知識の向上を行っていきます。

(8) 資金計画について

就労継続支援 B 型「やすらぎ工房」が三木市より無償貸与を受けている水道ガス管理棟に関し、10年後の譲渡売却案の進捗状況に照らし合わせながら、現地点での活動継続・移転含め継続した三木市との協議とともに、事業を維持・発展させていく上での資金の準備計画を立てていきます。また、各事業での支出の見直しを行い、経費の抑制を行っていきます。

3. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従業者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	就労継続支援 B 型事業所「やすらぎ工房」の運営	月～金 9:00～ 17:00	法人施設	6 名	4,200 人	52,600
	就労定着支援事業所「やすらぎ工房」の運営	月～金 15:00～ 17:00	法人施設 当事者 自宅 雇用先	3 名	50 名	
	共同生活援助・短期入所事業所「そよかぜはうす」の運営	月～日 7:00～ 20:00	法人施設	6 名	1,600 人	
精神保健福祉等に関する啓発事業	法人機関紙並びに広報誌の発行	年 8 回				
精神障がい者等と地域住民との交流事業						

(2) 各事業行事予定

月	やすらぎ工房行事	そよかぜはうす行事	地域行事
4			
5			
6			
7			
8			
9	避難訓練	避難訓練	
10			
11			
12			
1			
2			
3	避難訓練	避難訓練	

予定は状況により変更することがあります。

